



「心のスイッチ」

～平成30年度2学期スタートに寄せて～

校長 島野 歩

2学期スタート！元気いっぱいの子供たちの笑顔が学校に戻ってきました。その姿を見せてくれたことが、何よりのスタートの日の喜びです。長い夏休みに頑張ったことや多くの経験は子供たちのこれからのエネルギーとなっていきます。来週に尾瀬自然学校も控え、多くのチャレンジの機会にあふれた2学期！一人一人の成長を見守っていきます。

さて、本日は2学期スタートをきった子供たちへエールの気持ちを込めて、「心のスイッチ」という詩を贈ります。

「心のスイッチ」 東井 義雄

人間の目は、ふしぎな目。

見ようという心がなかったら、見ていても見えない。

人間の耳はふしぎな耳。

聞こうという心がなかったら、聞いていても聞こえない。

ほんとうにそうだ、と 腹の底まで聞く人もいる。

【中略】

心のスイッチが、人間をつまらなくもし、すばらしくもしていくんだ。

電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。

さあ、いつものように心のスイッチを入れ、見ましょう。聞きましょう。話しましょう。友達が待っています。仲間が待っています。先生が待っています。みなさんと学ぶ2学期を。本物とたくさん会いましょう。

困った時こそそばにいる友達・仲間・先生とともに今学期も大いに学びましょう。

多くのかかわりの中で、子どもたちの心と学力を育ててまいります。

保護者の皆様、今学期もご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。

◆オーストラリア国際交流(7月21日～7月28日)◆



～留学中の子どもたちの日記から～

今年度は、28人の子どもたちが「第4期 オーストラリア短期留学」に参加しました。濃い濃い8日間！日本を離れ、きっと寂しい思いをした日もあったでしょう。言葉がわからず、もどかしくやしい思いもしたことでしょう。でも、どの子にも頑張りがありました。そしてその頑張りは笑顔に結びついていきました。ハツラツ元気いっぱいのある留学期間、今までよりずっとオーストラリアや英語が身近になったに違いありません。オーストラリア短期留学を実施するにあたり、その主旨に賛同し、子供たちを送り出してくださった保護者のみなさま、ご支援くださったたくさんの方々から心からの感謝をこめて、御礼申し上げます。

以下は最終日前日の子供たちの日記の抜粋です。(お子様の日記は心の成長の記録です。)

●サインのついた手紙をもらい号泣してしまいました。みんな大好きです。ファミリーはやさしくてとてもいい日を過ごせたと思います。オーストラリア LOVE！

●来た時の想像より何倍も友達ができました。たくさんのプレゼントをくれました。中でも一番うれしかったのは寄せ書きで、私と他の友達の3人にくれました。



●学校のお友達がノートの書き方を教えてくれて授業が楽しく感じられました。去年よりとても楽しい一週間で最高に感じられました。

●最後の学校でした。とっても楽しかったけど、ちょっぴりさみしいです。ペアの ESSA ちゃんにはプレゼントをわたしました。写真もたくさん撮り、楽しい思い出が増えました。また来年も行けたら行きたいです。



●「ありがとう」と「早く帰りたい」が混ざっています。そしてオーストラリアはとても楽しかったです。それは「初」の体験がたくさんあったからです。

●バティと友達になりました。そして友達になったバティにプレゼントをもらいました。すごくうれしかったです。私は今悲しいです。どうしてかというオーストラリアとわかるからです。オーストラリアのことはわすれません。



●ママたちと離れて悲しかった8日間でもありますが、すごく楽しかった8日間でもありました。最後の日はすごく楽しかったです。ヘンゼルとグレーテルの劇が面白かったです。私もいつかこんな劇をしてみたいと思います。英語でわからなかったけど表情などでわかりました。ホームステイも同じです。来年も行けるといいです。



●みなさん、ありがとうございました。I LOVE オーストラリア！

子どもたちの頑張り、心からの拍手を送ります。